

各 位

| | |
|---------|-----------------------|
| 上場会社名 | 東海エレクトロニクス株式会社 |
| 代表者 | 代表取締役社長 大倉 慎 |
| (コード番号) | 8071) |
| 問合せ先責任者 | 取締役専務執行役員管理本部本部長 森田 誠 |
| (TEL) | 052-261-3211) |

業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年7月29日に公表いたしました通期連結業績予想及び2021年4月28日に公表いたしました2022年3月期の配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------|--------|-------|-------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 54,000 | 1,100 | 1,150 | 800 | 382.96 |
| 今回修正予想(B) | 58,000 | 1,650 | 1,700 | 1,150 | 548.35 |
| 増減額(B-A) | 4,000 | 550 | 550 | 350 | |
| 増減率(%) | 7.4 | 50.0 | 47.8 | 43.8 | |
| (ご参考)前期実績(2021年3月期) | 46,676 | 817 | 873 | 547 | 255.15 |

修正の理由

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症や世界的な半導体などエレクトロニクス製品の供給難が業績にどこまでの影響を及ぼすかまだ不透明な状況でありましたが、自動車分野を中心にお客様の生産活動は堅調に推移しており、懸念されていた半導体などの供給難についてもBCP(Business Continuity Plan)在庫を用いた供給活動の継続に努めてきたことから、前回発表予想を上回る見込みとなりました。また、損益面においても、売上高の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限されたことに伴い各種経費が減少したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を上回る見込みとなりました。今後業績予想の修正が必要であると判断した場合は、速やかにお知らせいたします。

● 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 | — | 52.00 | — | 52.00 | 104.00 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 55.00 | 107.00 |
| 当期実績 | — | 52.00 | — | | |
| 前期実績(2021年3月期) | — | 52.00 | — | 52.00 | 104.00 |

修正の理由

当社グループは、企業体質の一層の充実・強化を図り、業績に裏づけされた安定的且つ継続的な配当を株主の皆様へ行うことを経営の重要課題と考えております。この度の業績修正を踏まえ、当期の期末配当金を前回予想の52.00円から3.00円増額し、一株当たり55.00円とさせていただきます。

※上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上